1) グループ別議論 議論する枠組みの抽出

資料 <先回議論した内容>を参考にしながら、条例に必要な項目・盛り込みたい項目は何かを議論し、グループ内で議論するための大項目をKJ法で分類整理してみました。

<発表>

1班

- ・ まとまっていますが、個人的には、ダイバーシティーの考え方が入れられないか。出身ではない人たちも含めたまちづくりができるようなものを自治基本条例に入れられたらいい。
- ・ 一宮に足りないものを見つけて、それをどうすべきかという部分を入れられたらいい。
- ・ 町内会が適正な大きさか。町内会ありきできなく、適正な規模でやっていく必要がある。
- ・ 自治というが、行政におんぶにだっこではなく、すべて市民が全部やってしまうぐらいのものを自治条例に掲げたらいいのでは。自治は、市民が責任を持つことだということを明確にできたらと思う。

2班

- ・ 「市民投票」たとえば予算で大きいものは市民投票にかけるべきだとか。
- ・ 「議会の責務」議員の政務調査費の公開だとか
- ・ 項目を作る時には、理想的な事を書くことになるが、現実的な問題をどう項目にしていくかわからない。

3班

- ・ 基本的には、まちづくりがベース。
- ・ まちづくりのためには、経済振興が必要。生活のしやすい環境
- ・ ぎすぎすした環境ではなく、何でも言い合える地域環境づくりなど、個別の意見が出た。

4班

- ・ 大きく分けて、「市民によるまちづくり」に関わりたい。